

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会

回復期リハビリテーション看護師 認定コース



平成30年度開講 第12期 募集要項

問合せ先 一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 事務局
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-18-12 内神田東誠ビル 9階
電話:03-5281-8531 FAX: 03-5281-8535 E-mail:kaifukuki@rehabili.jp

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 主催
平成 30 年度 回復期リハビリテーション看護師認定コース
第 12 期 募 集 要 項 (概 要)

【下記のとおり第 12 期を募集いたします。毎年募集が殺到しますのでお早めに別紙にてお申し込みください】

目 的	回復期リハビリテーション看護師認定コースは、回復期リハビリテーション病棟において、以下の活動を行うことのできる看護師を育成することを目的としています。 ①回復期リハビリテーションサービスの対象者及びその家族に対する質の高い看護の提供 ②回復期リハビリテーション病棟における個人、集団、組織に対するリスクマネジメント ③回復期リハビリテーションサービスにおける多職種との協働とチームアプローチの実践
認定要件 及び 認定証	次の①～③の要件をすべて満たしている人を回復期リハビリテーション看護師認定コース修了者として認定します。 ①認定コースの全日程に出席し(遅刻・欠席・中抜け・早退は認められません)、レポートの提出により合格の評価を得ること ②出席した研修会に関するレポートを提出すること ③認定コース修了の後、自らの課題を決めて、全研修終了後 6 ヶ月以内に、本会の会員病院の回復期リハ病棟で行った 4 ヶ月以上の実践活動についてレポートにまとめ、期日までに提出して合格の評価を得ること ※上記認定要件を満たした者に対して、回復期リハビリテーション病棟協会会長名で認定証を交付します。

募集要項

募集人数 120 名：受付は先着順ですが、受講資格についての審査があります。(3 月 1 日(木)より受付開始です。)申し込みいただきました後、順次、看護委員会にて審査をいたしますので受講可否についてのご返答は時間をいただきますこと予めご了承ください。(約 1 か月ほどお時間をいただきます)また、できるだけ多くの会員病院様にご参加いただきたく、1 病院より 2 名までの参加とさせていただきます。

1 回 6 日間の研修を 1 年間に 3 回開催、合計 18 日間の研修を行います。
平成 30 年 9 月 17 日(月)～ 9 月 22 日(土)
平成 30 年 11 月 19 日(月)～11 月 24 日(土)
平成 30 年 1 月 7 日(月)～ 1 月 12 日(土)
各日、開講科目によって、開始時間、終了時間共に異なります。最長で 9:00～18:30 という講義日程があることをご了承ください。

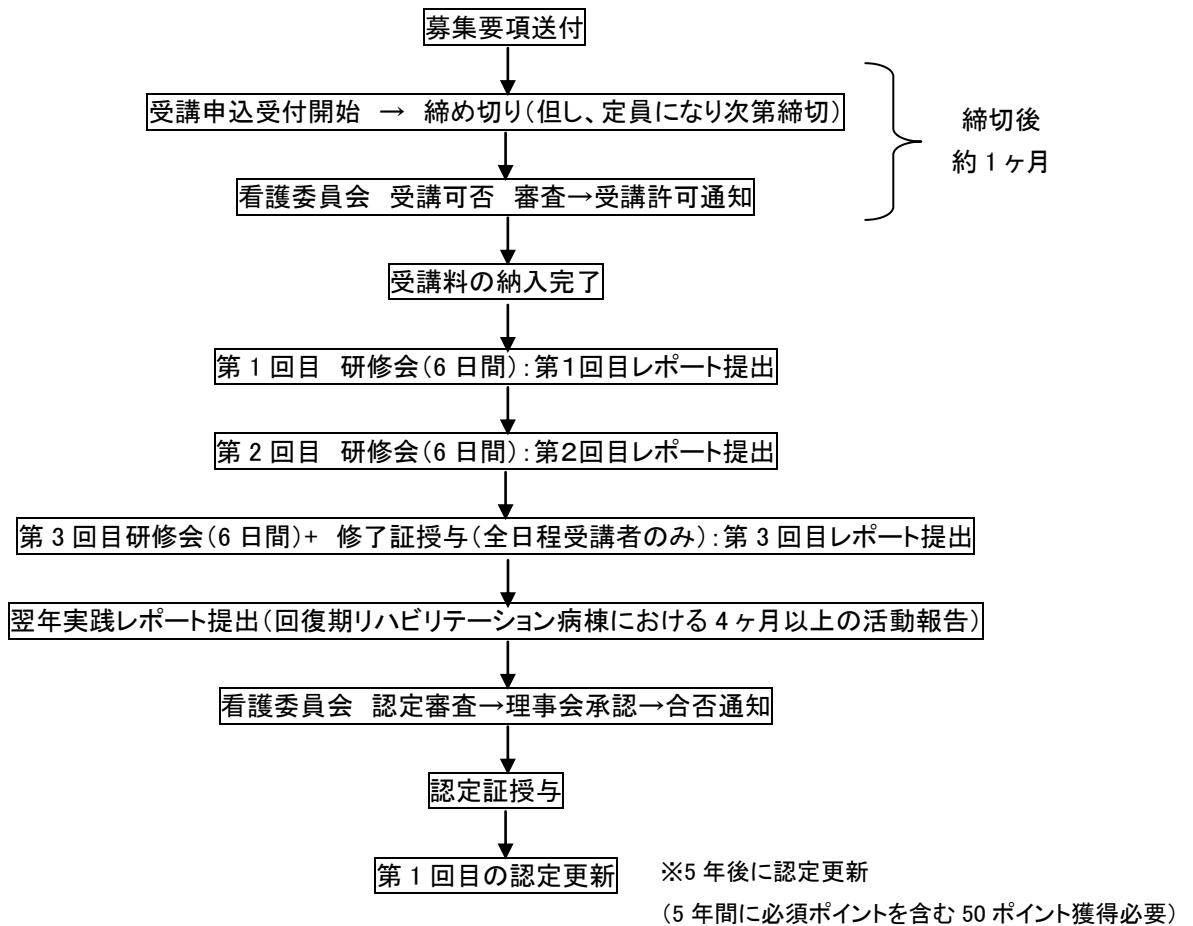
会場：三田 NN ホール 東京都港区芝 4-1-23 三田 NN ビル 地下 1 階 TEL 03-5443-3233
最寄駅：都営三田線・都営浅草線 三田駅(直結) JR 田町駅(徒歩 5 分)

応募要件：次の①～⑦の要件をすべて満たしている者
①日本国の看護師の免許を有すること
②当協会の会員施設に所属していること
③看護師の免許を習得後、実務経験が通算 5 年以上あること
④回復期リハビリテーション病棟での看護師としての勤務経験が受講日の時点で原則 1 年以上あること
⑤施設長もしくは上司の推薦があること
⑥回復期リハビリテーション看護に対する強い意欲があること
⑦全 3 回(合計 18 日間)を通して遅刻・欠席・中抜け・早退なく参加できること
注 1 文中の「看護師」には准看護師は含まれません
注 2 現在、回復期リハビリテーション病棟に所属していること
注 3 活動実践レポートは、当会会員病院、回復期リハビリテーション病棟にて実践を行い作成すること
注 4 本コースの規約をお読みください

平成 30 年度受講費用：200,000 円
* 自己都合によるキャンセルは別規定によるキャンセル料がかかります。当会ホームページ「学ぶ」のページよりキャンセル規程についてご確認ください。
* 18 日間の研修受講料・テキスト・お弁当代・交流会費・認定証授与式祝賀会費を含みます。但し、交通費・宿泊費等は受講者負担となります。

お申し込みいただく際には下記①②の内容が必要となります。
①受講者は、申込書に「受講の動機」および「認定後の意向(どうしたいと思っているか)」を具体的に記載してください。
②推薦者(施設長もしくは上司)は、推薦書に「認定後の病棟あるいは病院の意向(認定者をどのように活用され、どのように期待しておられるか)」を具体的に記載頂きますようお願いいたします。

参考:回復期リハビリテーション看護師認定コース 認定までの流れ



参考:回復期リハビリテーション看護師認定コース平成29年度講義実績からの30年度予定表

(敬称略・順不同)

※内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

講義タイトル	講師名	講義タイトル	講師名	講義タイトル	講師名
ケアの10項目宣言と実践	湯川 未伸み	脳血管疾患の理解	内山 真一郎	看護とリハビリテーションの考え方	
回復期リハビリテーション病棟の役割と将来	園田 茂	脊髄損傷の理解	石原 健	生活の再構築と自立支援	酒井 郁子
安全と抑制	古権 久美	脊髄損傷患者の看護	福本 恭子	QOLの考え方と評価	
家庭復帰の考え方と社会制度	森戸 米行	回復期リハ対象の骨関節系疾患の理解	西村 一志	PT・OT・STの専門性	青柳 秀之
全身管理とリスクマネジメント	角田 賢	回復期リハ対象の骨関節系疾患患者の看護	吉村 洋子	チームビルディングのために ～明日からできること～	聖田 由美子
リハビリテーション・マインド	石川 純	呼吸器系疾患とリハ	加賀谷 青	医療安全	渡邊 達
リハビリテーション医療に必要な運動学	向野 雅宏	地域包括ケアシステム推進に向けた 看護師の役割	川越 雅弘	スキンケア	江崎 智幸
回復期における栄養管理	高山 仁子	人間関係論・対人関係の構築	三沢 良	危機理論とストレス理論	白尾 久美子
対象者の理解と評価 ～身体機能の考え方と評価・ADLの評価～	澤 俊二	高次脳機能障害の理解と看護	一宮 雅典	家庭復帰のための住環境整備 ～住み続けるために～	相良 二郎
服用薬統制の理解	星孝 明元	臨床倫理 倫理的課題の捉え方とアプローチ	稲葉 一人	医療施設における療養環境整備	尾 達夫
ICF	文彦中	被害者下障害を有した人へのアプローチ	小山 珠美	排泄障害の理解と看護	西村 かおる
人体のメカニズム(含演習)	文彦中	障害者のリハビリテーションと社会制度	伊藤 利之	教育的関わりコーチング論	北瀬 暁子
福祉用具の活用法	文彦中	継続看護と地域連携	山本 詩帆	リハビリテーション期の家族機能の 考え方と評価	榎原 清子
高齢者の理解	橋井 郁子	急性期における脳血管疾患の看護	乾部 奈弥子	抑うつと理解と看護	久保 博典
認知症の理解と看護	橋本 裕	口腔ケア	菊谷 武	コミュニケーション論	森田 秋子
障害への反応と心の回復過程	栗生田 文子				

(別紙)

申込日 年 月 日

FAX 03-5281-8535

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 行 TEL 03-5281-8531

平成 30 年度 回復期リハ看護師認定コース 第 12 期 受講申込書

■ 連絡先	フリガナ		
	病院名		
	病院所在地	〒	
	申込担当者氏名	フリガナ	e-mail
TEL		FAX	
参加者氏名 (直筆) (申込担当者と同じ場合も 記入してください)	フリガナ	役職	

受講資格要件について(はい・いいえに○をしてください。要件を満たさない場合は受講できません)

- ① 日本国の看護師の免許を有している はい いいえ
- ② 当協会会員施設に所属している はい いいえ
- ③ 看護師の免許習得後、実務経験が受講日(平成 30 年 9 月 17 日)時点で通算 5 年以上ある はい (年 ヶ月) いいえ
- ④ 回復期リハ病棟での看護師としての勤務経験が受講日(平成 30 年 9 月 17 日)時点で原則 1 年以上ある はい いいえ
- ⑤ 施設長もしくは上司の推薦がある はい いいえ
- ⑥ 回復期リハビリテーション看護に対する強い意欲がある はい いいえ
- ⑦ 全研修会日程を通して出席できる はい いいえ

注 1 文中の「看護師」には准看護師は含まれません 注 2 応募時に、回復期リハビリテーション病棟に所属していること

注 3 活動実践レポートは、当会会員病院の回復期リハビリテーション病棟にて実践を行い作成すること

応募理由(受講の動機、認定後の意向)

推薦書	
推薦者	氏名(直筆)
推薦理由	

●平成 30 年 3 月 1 日(木)より受付開始です。 ●推薦者氏名・役職は、直筆でお願いします。

- 看護委員会の審査を経て、受講の可否を事務局から通知いたします。
- FAX での送信が、記載内容等の都合で適さない場合は、郵送にて送付してください。

